

「手の外科のスペシャリスト、三宅潤一先生(三宅整形外科病院)に聞きました



■三宅潤一先生プロフィール

医師・医学博士(大阪大学)
日本整形外科学会専門医
日本手外科学会専門医

略歴 2001年 大阪大学卒業、大阪大学整形外科
2002年 大阪府立母子総合医療センター整形外科
2003年 大阪厚生年金病院整形外科(手の外科)
2008年 大阪大学整形外科(手の外科)
2013年 チューリッヒ大学整形外科(手の外科)
2014年9月～ 医療法人三宅会 三宅整形外科病院

受賞 日本整形外科学会学術総会優秀演題賞(2010)
国際肩肘学会(ICSES) Best Paper Award(2013)
日本学術振興会科学研究費(基盤C)(2011～2013)

所属学会 日本整形外科学会(専門医2008年取得)
日本手外科学会(専門医2009年取得)
日本肘関節学会
日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会

手の外科って？

手や腕に痛みや傷がある時、整形外科、形成外科、外科…、どこへ行けばいいのか迷ったことはありませんか。最近注目されている診療科目の一つが「手の外科」。「手の外科の専門医」として大阪大学やチューリッヒ大学附属バルグリスト病院(スイス)で豊富な経験を積み、今年9月から医療法人三宅会三宅整形外科病院で「手の外科」の診療をスタートした三宅潤一先生にお話を聞きました。

繊細な構造を持つ上肢の治療に精通した、「手のエキスパート」

「手の外科は、整形外科・形成外科専門医の中でも、手の診察・治療に精通した「手のエキスパート」が外科的な取り組みを行う、専門性の高い分野です。対象となるのは、主に手・指から肘(ひじ)、腕にかけての上肢。ここは人間の体の中でも特に緻密な構造を持つ部分ですが、「手の外科医」の数は非常に少なく、福山市・府中市・療園(福山市・府中市・神石高原町)で2人です。

手の骨折、ばね指、変形性関節症も、手の外科へ

「手の外科が扱う病気やけがは、外傷、慢性疾患、先天奇形、スポーツ障害、炎症性の疾患など多岐にわたります。群、変形性関節症などがあり、症状によっては内視鏡による手術も行います。骨折などを放っておいて変形した骨の再建手術も行います。

上肢の変形性関節症親指の付け根や肘の関節に痛みや腫れが生じる、50歳以上の女性に多い疾患です。



手を専門に診察・治療する

【外傷】
骨折、腱(けん)や靭帯(じんたい)の断裂、神経の損傷、切り傷など。マイクロサージャリー(手術用顕微鏡)を使った高度な手技で対応する場合もあります。高齢者の骨折では、骨粗しょう症に留意しながら手術が必要となります。

【慢性疾患】
ばね指、手根管症候群、肘(ひじ)部管症候群、肘(ひじ)の神経が圧迫される疾患。しびれや痛み、筋力の低下などを伴います。

【先天奇形】
先天性な指の欠損や多指症、先天性橈尺骨癒合症(とっしやっこつゆごうしょう)など。先天性橈尺骨癒合症は、腕にある橈骨と尺骨という2本の骨が癒合している疾患で、手のひらを返す動きができません。顔を洗う動作ができない、お茶碗が持てないなど、日常生活の中で親御さんが気付くことが多く、手術には

【スポーツ障害】
野球・テニスなどのスポーツによって起る肘などの障害です。早期スポーツ復帰のために、内視鏡を使った低侵襲の手術や、肋骨(りぼつこ)から軟骨を移植する手術を行う場合もあります。

【炎症性の疾患】
「リウマチ」などがあり、人工関節手術を行う場合もあります。

下の項目に1つでも思い当たる方「手の外科」へ

- 指が動きにくく、細かい作業がしにくい
- 手や指がしびれる(特に夜中に強い)
- 肘や肩が痛い
- 指の付け根が痛い
- 手や指に腫瘍のようなものがある
- 手や手首が痛くて仕事やスポーツができない
- スポーツで手や腕に外傷・障害がある
- 手や指をけがした後の痛みや腫れが続いている



※一般財団法人日本手外科学会のホームページには、手の外科専門医のリストがあります。http://www.jssh.or.jp/

手や腕に痛みやしびれがあっても、「年だから」「うっとうしいから」とあきらめたり、「この科へ行けばいいのかわからない」という方も多いでしょう。気になる症状がある方、「手の外科」の受診をお勧めします。

◇この記事についての問い合わせ先

084(0)3000000
医療法人三宅会 三宅整形外科病院(東町)